

2016年3月28日 No.157



なるほどなっとくニュース

なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

やまぐちけん ぶんか ざい くにしてい けんぞうぶつ

じゅうようぶんかざい きんだい

山口県の文化財・国指定の建造物 ~重要文化財、近代③~

文化財とは、我が国の長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産のことです。

くに してい

じゅうようぶんかざい

国の指定による 重要文化財

せまぐもけん じゅうようぶんかざい さんだい けんぞうぶつ 山口県の重要文化財の内、近代の建造物 は7件あるよ。(2016. 2. 1現在)

ありちかけ じゅうたく 有近家住宅



有近家は、江戸時代から酒造業を営み、明治 じだい 時代には周辺の農地や山林を所有する地主と なりました。明治25 (1892)年に建てられたとされる主屋と米蔵、長屋、正門など 7棟が指定されています。

やまぐちしとく ちゃきか 山口市徳地八坂



きゅうもうり けほんてい 旧毛利家本邸

きゅうちょうしゅうはんしゅ もうり 旧長州藩主の毛利 けたいしょう 家が大正5 (1916)年 に建設したものです。

くまげぐんかみのせきちょう 熊毛郡上関町



ehtinge しかいろう **四階楼**

全体に上質な材料や高度な木造技術を用いた伝統的な和風デザインの住宅建築です。コンクリート造や鉄骨造、役割に応じた配置など、近代的な方法を取り入れています。

明治12 (1879)年に海上交通の要所として栄えた室津 はんとう おがたけんくろう せしゅ げいひん しゅくはく 半島に小方謙九郎を施主として、迎賓もしくは宿泊 たまされました。文明開化の地方への普及 かうかがえる和洋折 衷様式の高層建築です。